HACHIOJI
JR東労組八王子地本
発行責任者
野中 広俊
2025／10／24
No.27

八地申第1号

「JR東労組八王子地本第29回大会発言に基づく申し入れ」団体交渉をおこなう！！ その①

7月12日に行われました八王子地本第29回定期大会において、代議員から新人事賃金制度に対する不安や悩みなどの発言が多くありました。また「融合と連携」加速する中で相互運用や要員逼迫、お客さまサービスと安全レベルの低下を懸念する職場からの悲痛の声があげられていました。

第1項　各箇所において要員需給が厳しく支社からの兼務や相互運用で出面を確保している現状である。要員を確保し、休日出勤に頼らず希望通りの年休が取得できるよう是正すること。また、兼務や相互運用の際の教育・訓練は確実に実施すること。

会社回答　業務の運営に必要な要員は確保していく考えである。
また、引き続き、必要な教育。訓練を実施していく。
なお、相互運用等に対する教育は、養成や教育の期間を確保した上で、習熟度に応じた教育の実施、研修や現場第一線でOJTを実施している。

組合	会社
社長が会見で鉄道事業の必要人員は34000名。現在は40000名と話している。支社の見解は？	必要な要員は確保しているが、要員がひっ迫することがある実態は把握している。休日出勤がない状態がベストな状態。社員の柔軟な運用などを取り組んでいきたい。
休日勤務は増えているのか？	休日出勤が増えている実態。生活サービス事業にも取り組んでいく中で、各職場で担っているため業務量が増えている。

我々からすれば社長会見は現場から反響を呼んでいる。職場の組合員や社員からガッカリする声を聴いている。このままでは入った新入社員もやめてしまうのではないか？しかし数年行った交渉の中で、支社の回答は変わっていない。我々は危機感を持って項目を挙げている。

休日出勤の問題意識を持つ回答は出すが、この数年で回答が変わらず改善が見えないことを指摘！

我々としては休日出勤を良いと思っていない。お互いに少なくしていきたいことは認識があっている。しかし職場の雰囲気は「休勤がつらい」「人が少ない」と言いづらい状況。これは危機的ではないか？	ベストな状態に近づけるよう、健康経営の観点からも取り組んでいきたい。

休日出勤・超勤を減らしていく事はお互いに確認！

HACHIOJI
JR東労組八王子地本
発行責任者
野中 広俊
2025／10／24
No.28

八地申第1号
「JR東労組八王子地本第29回大会発言に基づく申し入れ」団体交渉をおこなう！！ その②

第1項　各箇所において要員需給が厳しく支社からの兼務や相互運用で出面を確保している現状である。要員を確保し、休日出勤に頼らず希望通りの年休が取得できるよう是正すること。また、兼務や相互運用の際の教育・訓練は確実に実施すること。

相互運用を行う中でどれくらいの期間で養成を行っているのか？	不安なく業務を行うことが前提。それを見た上での養成期間を決めている。
要員が少ないから前倒しして一本にするのは好ましくない認識か？	習熟度を見た上で前倒しすることはある。
本人に不安がない前提で前倒しすることでよいか？	面談等も行っているので不安がないかを把握している。
要員不足により前倒しして一本にさせないことを確認したい。	社員一人ひとりとコミュニケーションをとり不安がない状態で一本にしていきたい。

相互運用を行う中で、要員不足を理由に不安なままの状態で担務の一本立ちをさせないことを確認！

第2項　サービスレベル低下を防ぐために、乗降の補助を要するお客様の対応を安全かつスムーズに行える体制を構築すること。

会社回答　引き続き、関係個所と連携して対応していく考えである。
なお、駅社員等による、列車の条項のお手伝いが必要なお客様の介助について、お客様にお待ちいただく時間の短縮と駅係員等の誤案内及び対応失念の防止などを目的に事前にご連絡をいただけるよう案内を行っている。

組合	会社
乗降補助の依頼を事前にご連絡いただけるよう案内を行っているとは？	お出かけサポートをホームページから申し込みできるシステムを指している。
駅に要員がいないことが課題。こちらの都合でお客様が希望の列車に乗れないため迷惑をかけている。	お客様にスムーズに乗ってもらう一環でお出かけサポートを行っている。
このシステムは障碍者団体や老人ホームなどに周知しているのか？	ホームページで周知している。
直接周知していないのであれば周知すればよいと思う。	その通りだと思う。いま提起してもらった部分は、お客様に使用してもらいたい観点で受け止めたい。

お出かけサポートのサービスを多くの方にご利用頂けるように周知を行うよう提起

HACHIOJI
JR東労組八王子地本
発行責任者
野中　広俊
2025／10／24
No.29

八地申第1号
「JR東労組八王子地本第29回大会発言に基づく申し入れ」団体交渉をおこなう！！　その③

第2項　サービスレベル低下を防ぐために、乗降の補助を要するお客様の対応を安全かつスムーズに行える体制を構築すること。

ご利用が多い時間帯の体制として駅の要員を厚くする体制は必要。	意見は受け止めたいが今の体制でやっていく事は変わらない。
「人を増やせ」は短絡的と思うかもしれないが、お客様はJR東日本のサービスを見ている。要員について検討してもらいたい。	意見は受け止めたい。当社の基盤はお客様の信頼。 秋川駅は委託駅であるので、協力会社の意向にもなる。

サービスの観点から秋川駅の要員見直しを求めるが、現在の体制を変える考えはない回答に終始！

第3項　旅行需要の拡大により、中央線特急の一人乗務は車内改札業務が全車両終わらない現状があるため、車内秩序維持も含め車内改札要員を確保し料金逋脱防止を図ること。

会社回答　新たな着席サービスが定着し、車掌の社内巡回・改札業務が変化したことから乗務体制の見直しを行っているものであり、一人乗務を基本とした乗務体制を変更する考えはない。
なお、引き続き、お客様のご利用状況等は把握していく考えである。

組合	会社
職場の声を把握しているのか？	回り切れない声も聞いている。 社員には回り切れなかった状況を報告してもらいたいと言っている。回りきるために安全性低下につながることは良くない。
把握して集めていて、回り切れないなら対策を立てることも必要ではないか？	えきねっとなど事前購入の定着が必要。
料金逋脱の問題で会社はどこまで容認するのか？	事前購入の原則に則り対策をしている。

それは当たり前のことであり納得できる回答出ない。回答が硬直的である。社員の声や発意に対し、支社の硬直的な姿勢はいかがなものか？その回答では納得いかない。

料金逋脱の問題に対し、支社の回答が硬直的で納得できない回答である事を指摘！

お客様の実態や職場の声を把握した上で、料金逋脱防止をどうするのかを考えないのか？この間、指導もいるから乗務することもできると提案してきた。一人乗務を担い便乗する中で便乗乗務ができない。一人乗務の施策を担った我々は何だという声も出る。把握した何をしたか？	把握は常に行っている中で、一人乗務で行い臨時の乗務を行わない回答になる。

この間、料金逋脱防止の対策を提案し、現場の憤りを訴えてきたが、一人乗務で行う回答に終始！

HACHIOJI
JR東労組八王子地本
発行責任者
野中　広俊
2025／10／24
No.30

八地申第1号
「JR東労組八王子地本第29回大会発言に基づく申し入れ」団体交渉をおこなう！！　その④

第3項　旅行需要の拡大により、中央線特急の一人乗務は車内改札業務が全車両終わらない現状があるため、車内秩序維持も含め車内改札要員を確保し料金逋脱防止を図ること。

お客様へ不平等感を与えない・車内秩序の維持・乗務員としてのやりがいを持たせる、その三点を大事にしていく認識を合わせたい。	その通り。

「お客様への不平等感・車内秩序の維持・乗務員のやりがい」を大事にしていく事を一致！

第4項　お客さまの命を守り、事故・事象を未然に防ぐ観点から、現場社員の声をもとに設備対策を講じること。

会社回答　必要な設備については整備を検討していく考えである。

組合	会社
カーブ等で先を見られない駅なのにITVが設置されないなど、乗務員の声が反映されていないのではないか？	声は把握している。
駅に特情がある。そこを把握しているなら、その駅で起きた事故に対して乗務員の責任にしないでほしい。	すべてが責任ないとは言い切れないが、責任追及でなく原因究明を行っていく。

カーブ等で先が見えない駅で発生した事故に対し、原因究明で対策を行うと発言！

職場にITVの設置について示してもらえれば労働組合として項目に挙げることはない。何年かかって設置する、そのためにフォローすることが出ていればこのような声は出ない。	意見を受けたい。しかししっかり調査して行うものなので、現場に中途半端な状態で返せない。決まったものは伝える。
我々も出された進捗状況があれば組合員に伝えていくし、知っていればこの項目を上げることはない。我々の声を受け止めているだけで何も変わってないと思ってしまう。どのようなフィードバックが職場であるか掴んでいき、どのような変化があるかを期待したい。	社員とのコミュニケーションは大事だし、継続して取り組んでいきたい。

ＩＴＶの設置に関する予算・計画・経過・ビジョンを伝えることで職場の納得感に繋がる事を指摘！

ITV設置は安全の問題である前提がある。優先して取り組んでもらいたい。	その通り。

ＩＴＶの設置議論に関して大前提は安全議論である一致を求める！